

新カリキュラムにともなう新設科目

(一部抜粋)

早期体験実習

看護実践の場または地域において、看護職者の仕事を観察し、自由に対話する中から、また看護を必要としている人々やその他の医療従事者、関連職種との対話から、さらに学生同士の討論や役割モデルとなる看護職者の口演などを通して、看護という職業の意義や社会における期待、必要性、そして今後の職業的準備のあり方について学習する。



身体活動論

QOLを高めるために必要な個人的資源としての「心身の健康」について考え、身体活動とエネルギー代謝、発育や加齢に伴う身体活動の特徴や、活動量の評価法など、科学的な視点に立って、個人にとって適切な自立的身体活動の実施と継続の諸条件と方法を広く学習する。



ヘルスアセスメント

個人の健康状態を全人的に理解するために必要なヘルスアセスメントの概念と枠組みを学ぶ。さらにフィジカルアセスメントに焦点をあて、フィジカルアセスメントに関する基本的な知識、技術と態度を学ぶとともに、ライフサイクル各期に特有の方法と留意点についても演習を通して具体的に学ぶ。



専門看護職論 I

大学で看護学を学ぶ意味について考え、沖縄の看護の歴史と本学の建学の精神、教育理念、教育目標を理解する。さらに、看護の歴史と専門職看護の概念と現状を概観し、人々の健康を守る社会活動の中の看護職の役割と関連他職種との協働・連携について学ぶ。

